

2. 目 標 達 成 計 画

事業所名 グループホーム南松園
 作成日 令和5年1月9日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	41	利用者によって認知症の進行や身体機能の低下による、食事水分摂取量の低下が見られる。	利用者の認知・身体状況に合った食事・水分をバランス良く摂取する事ができる。	①利用者の今までの食生活を再度振り返る。 ②体重・食事量などの情報を併設施設の管理栄養士と共有し助言を受ける。 ③食事の環境を変えたり盛り付けや色どりの工夫による食欲増進を図る。	6か月
4	44	利用者の排便傾向を日々、チェックしながら便秘薬を調整しているが、高齢化や身体機能の低下・便秘薬の慣れにより便秘気味になりやすくなってきている。	利用者個々に合った排便間隔でスムーズな排便ができる。	①利用者個々の排便間隔を把握して、その人に合った便秘薬の使用について嘱託医の指導を受ける。 ②便通の良い食品について管理栄養士より助言をもらい献立に組み込む。 ③適度な運動を日常生活の中で計画する。	6か月

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。